

# 学校教育の資質向上へ

## 学校評価（自己評価）の結果をお知らせ

日野町では、平成20年度から学校評価に取り組んでいます。

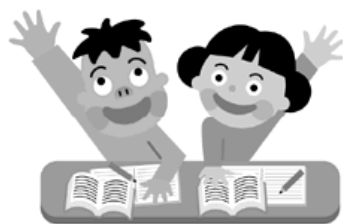
学校評価とは、学校が、自らの教育活動、学校運営についての目指すべき成果や、それに向けた取り組みの目標を設定し、その達成状況を評価しながら改善を図り、学校教育の資質向上を目指すものです。

日野町の学校評価の結果をお知らせします。

学校ごとに評価を実施  
具体的な自己評価の取り組み内容は、各学校ごとに学習指導、人権教育・体験活動、生活習慣、家庭・地域連携などの評価項目を定めて、現状の把握・具体的方策・目標の達成状況について評価を行うものです。

学習意欲が向上する指導を  
学習指導の面では、意欲を持って学習に臨んでいるという反面、学習内容の定着が十分できていません。

また、学校での学習指導だ



けでなく、家庭生活の中でも学習の時間を位置づけ、宿題以外の学習など、学力向上と自ら実践する学習意欲の向上を図る指導が求められます。

思いやりの心は高く評価  
人権教育・体験活動では、自分の思いを伝え、他人の思いを受け止める、命あるものへの思いやりなどの力は高く評価されますが、個々の役割は積極的に果たし実践しているもの、他との協調性が十分でないなど、今後体験活動などで実践・育成していくことが課題となります。

規則正しい生活習慣を  
子どもの生活習慣では、学校での日常のあいさつや返事はきちんとしていますが、地域の中ではまだ十分習慣として定着していません。  
また、時間やルールを守り、早寝早起きなどの実践を継続して重ねていくことが課題です。

連携して教育を推進  
家庭と地域の連携の点では、開かれた学校づくりを目指し、学校だよりや学級通信などの学校からの情報発信については高く評価していますが、今

後はPTA組織・地域各種団体・地元との連携を更に強化しながら、学校・家庭・地域社会が関わる教育を推進する必要があります。

これらの各学校が評価した結果をもとに、平成21年度からの小中一貫教育（義務教育9年間を見通した、子どもの発達段階に応じたきめ細やかな学習指導）を実践し、「心豊かにたくましく羽ばたく日野の子の育成」を目標とした地域社会全体での取り組みに、ご協力をお願いします。



## 教育委員会からのお知らせ 報告や協議を行いました

5月8日、第5回の町教育委員会を開き、提出議案はありませんでしたが、次のことについて報告・協議を行いました。

### 【報告事項】

日野郡体育指導委員協議会  
について

平成21～22年度、日野町が事務局となり、会長は高橋伸也さんに決定しました。

### 【協議事項】

平成21年度の学校計画訪問  
について

町内小中学校の教育計画と  
その実践上の諸問題について  
意見交換を行います。根雨小学校は、県の計画訪問と一緒に  
に行きます。

## 新型インフルエンザについてのお知らせ

次の と 両方に当てはまる人は、感染の拡大を防ぐため、まず、西部総合事務所福祉保健局（米子保健所）発熱相談センターに電話でご相談ください。

発熱相談センター（電話 0859 31 5800）

：帰国後 10 日以内に、メキシコなどの新型インフルエンザがまん延している国または地域に滞在もしくは旅行した人、あるいは新型インフルエンザがまん延している国または地域に滞在もしくは旅行した人で発熱や呼吸器症状を訴える人と接触した人

：発熱や呼吸器症状（せき、のどの痛み、鼻水など）がある人

### 日野病院ご利用の皆様へ

現在、国内でも新型インフルエンザ患者が確認されています。当院では、その拡大の状況により外来診察・入院病棟の一時的な縮小・廃止を行う予定です。

また、上記 と に当てはまる人は、当院では対応できません。来院の前に上記の発熱相談センターへご相談ください。

なお、5月15日（金）から、黒坂診療所は当分の間、月・水曜日だけの診察となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

日野病院長

まちの介護予防だより 連載  
役場健康福祉課（電話 72 0334）

## カラダとココロの

### 介護予防

#### 日ごろから取り組もう 介護予防

なにげない転倒が寝たきりの原因に

介護が必要となる原因は、高齢による衰えや病気などの理由が大半を占めています。その中でも、なにげない転倒で骨折し、それが原因で寝たきり状態になってしまうことがあります。

これは、運動不足や栄養不足などで筋力が弱くなり、転びやすくなっているからです。また、骨折はしなくても、転倒した人は外出を控え、家に閉じこもりがちになる傾向があります。元気なうちから介護予防に取り組むことが大切です。

介護予防でいつまでも生き生きと過ごす

要介護状態にならないための介護予防への取り組みは、決して特別なことではありません。加齢による老化は避けられませんが、日ごろの介護予防の取り組みによってそのスピードは遅らせることができます。「もう年だから」と消極的にならず、生活機能の低

下に早めに気づき、何事にも自分でできることを増やしたり、生きがいや目標を持つなど、日々の生活を活発にしていく積極的な姿勢こそが介護予防なのです。

自分に合った運動を続けることが大切

体を動かさないと、知らないうちに筋力が弱くなっていきます。筋力は、運動や体操をすれば、すぐに力がつくというものではありません。自分に合った適度な運動を見つけて、体調に合わせて長く続けていくことが大切です。

また、転んでも骨折しないよう、骨粗しょう症の予防・治療も行いましょう。町では、場所を選ばず簡単にできるセラバンド体操（ゴムチューブを使った筋力体操）を、ほかほか教室などで勧められています。

生活機能の低下など、気になることがありましたら、町地域包括支援センター（電話 72 1852）まで、お気軽にご相談ください。

